ウ、１人１役として適材適所の配置をする。

エ、学年（学年団）単位に分担する。

オ、各部の独自性と相互関係を明確にする。

カ、実施活動をより積極的にする。

キ、その他（　　）

(2) どの部面をどう改善しましたか。

ア、教務部面（　　）

イ、教科指導部面（　　）

ウ、生徒指導部面（　　）

エ、教員研修部面（　　）

オ、物品管理部面（　　）

カ、事務部面（　　）

キ、その他（　　）

2. 校務分掌を改善された場合には、その動機はなんでしたか。

ア、文献、研究学校等からの示唆　　イ、学校目標の具体化

ウ、教員研修の充実　　エ、校務分掌相互の明確化

オ、組織体制の機能化　　カ、事務の合理化、円滑化

キ、適材適所の配置　　ク、その他（　　）

3. 校務分掌の遂行上の適量化、主体化、協同化などについて、特にどんなことに配慮していますか。

ア、１人１役　　イ、適材適所　　ウ、分担の明確化

エ、分担の細分化　　オ、相互の協力体制　　カ、管理体制の充実

キ、校務の平均化　　ク、校務、指導組織の一元化　　ケ、能力本位の体制

コ、経験本位の体制　　サ、管理者の識見、教職員の人間関係

シ、その他

4. 指導計画や授業について、校務分掌組織がどんなかたちで責任分担していますか。

ア、教務部（係）　　イ、教科研究部　　ウ、学年（学年団）部

エ、授業研究委員会　　オ、その他（　　）

5. 生徒指導について、任務分担はどこになっていますか。

ア、カウンセラー　　イ、生徒指導主任　　ウ、学級担任

エ、生徒指導部　　オ、学年協力組織体　　カ、全職員の協力体制

キ、その他（　　）